



2月ほけんだより

2025年度
松葉保育園
看護師内山

2月3日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされています。今年は、平年を上回る暖かさとなり、今シーズンは異例の早さでスギ花粉が飛散となっています。まだ「少ない」レベルですが、花粉に敏感で、症状がひどいお子さんは耳鼻咽喉科へ受診した上で担任へお声かけ下さい。

今月も元気に過ごしていきましょう。



2月の保健行事

5日(水) 身体測定

13日(木) 乳児健診

1月の感染症

インフルエンザA …5名(1歳児1名・2歳児1名・3歳児3名)

伝染性紅斑 …4名(1歳児2名・2歳児1名・4歳児1名)

感染性胃腸炎 …5名(0歳児1名・3歳児2名・4歳児2名)

溶連菌感染症 …1名(2歳児)

コロナウイルス感染症…4名(3歳児1名・4歳児1名・5歳児2名)

※ 鼻水や咳の症状があるお子さんは多くいました。

検査のタイミングについて…(インフルエンザ・新型コロナ感染症)

一刻も早く診断してほしいのですが、症状が出てから間がないと陽性にならないことがあります。

抗原検査の陽性感度は発症早期では6割程度といわれます。発症して12時間未満では、抗原検査の感度が低い傾向にあり、12～24時間経過すると感度が上昇すると報告されていますので、

発症(発熱)してから12時間以上経過してからの検査が望ましいとされています。

※検査を実施するか否かはかかりつけ医の判断によります。実施した場合には、結果をお知らせ下さい。

寒い季節はやけどに注意ください！

0～9歳の子どものうちやけどの発生が最も多いのは1歳児、次に0歳児です。水泡ができたり、手のひら(体表面積の1%)より大きい範囲のものは重症と考え速やかに病院へ！

子どもは好奇心でいっぱい！大人の想定外の行動もあります！

- 例) 炊飯ジャー:シューという湯気をのぞきこんで
- 電気ポット:お湯の出口に口をつけて吸う
- ストーブ:熱いかな?と触ってみる
- 浴槽:お風呂は楽しいところ。ハイハイができればよじ登れます



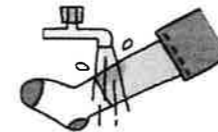
- ★患部に衣服がくっついてはがれない
無理にはがさず、くっついた部分は残して切り取り、清潔なシーツなどで覆って外科か皮膚科へ。
- ★顔や陰部のやけど
特に気をつかう場所。医師の適切な処置を。
- ★水ぶくれが500円玉より大きい
ガーゼなどで保護して外科へ。
- ★第2度(水ぶくれ・ただれ・激痛がある)以上のやけど
乳幼児は細菌に感染しやすいので軽症と思っても、念のため外科で受診を。
- ★低温やけど
意外と深いやけどになっていることも。気づいたらすぐに冷やして外科へ。

こんなときは救急車を
・広い範囲にわたるやけど。
・体表面積10%以上のやけど。
(子どもの場合腕や足1本の面積がほぼ10%)

やけどの応急手当て

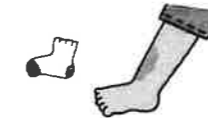
①流水で冷やす

水道を流しっぱなしでとにかく冷やす(着衣の場合も同様)。痛みが和らぐまで。



②衣服を脱がせる

ある程度冷えたら、患部を覆っている衣服・靴下などを脱がせる。生地が皮膚にはりついているときはその部分を残して切り取る。



③患部を保護する

患部を清潔なガーゼで覆い、包帯をゆるめに巻く。水ぶくれや激痛があるような場合は、その後病院へ。皮膚が青白くなって痛みを感じないようなときは、救急車を。



※子どもは日々成長しています。昨日まで届かなかつたりできなかった事が急にできるようになります。これと同時に危険も増えます。

★やけどをしてしまったら、10分以上は水で冷やし、病院へは冷やしながらか受診します。

★風呂の残り湯は抜く！ストーブに鍋！熱い物は子どもの手の届かない1m以上の高さに置く！など一歩先回りした事故防止に心がけましょう。